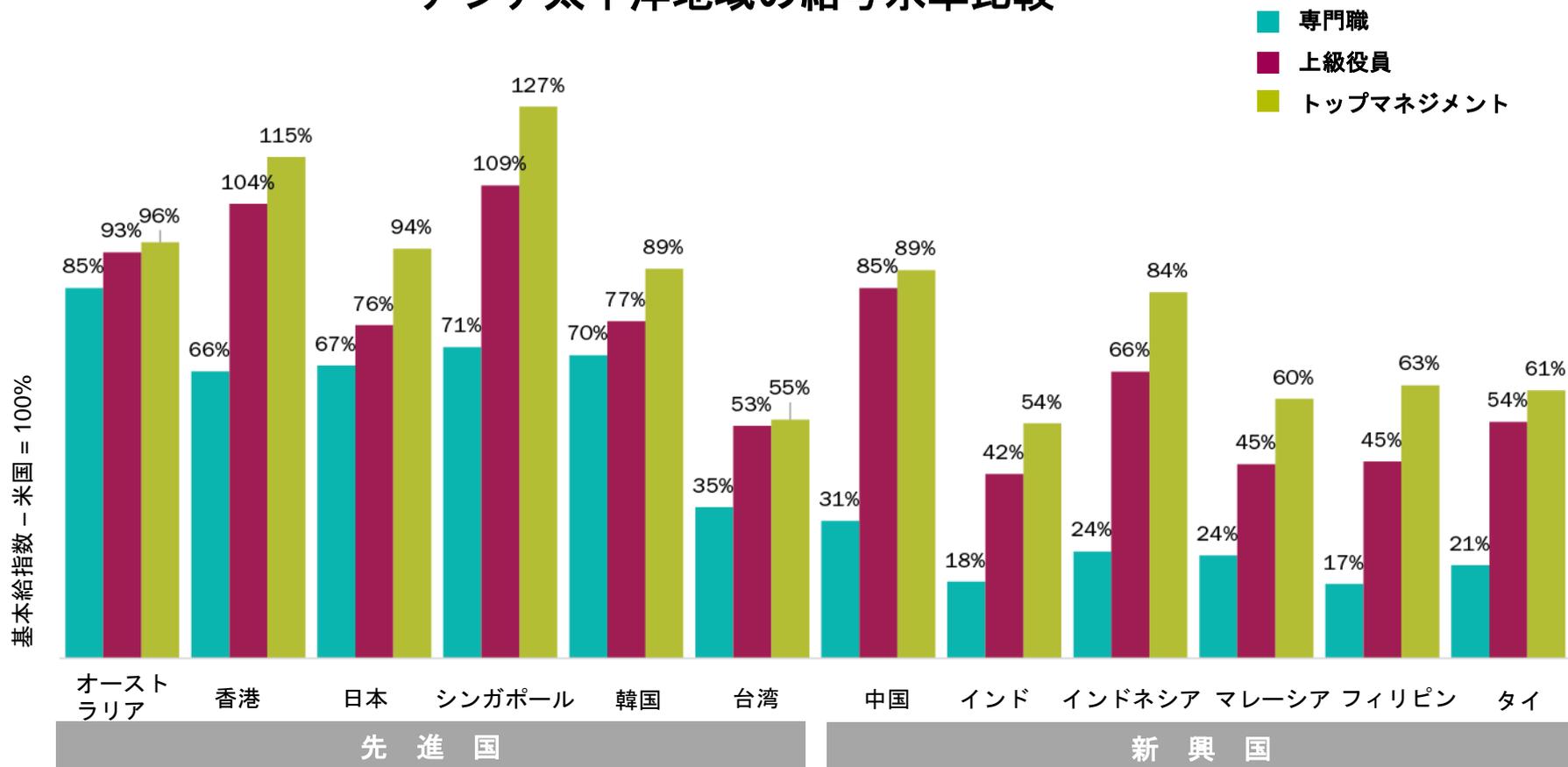


アジア内でみる給与競争力の現状

2015/16年版グローバル50報酬レポートーアジア太平洋地域の考察

アジア太平洋地域の給与水準比較



新興ASEAN諸国の低い給与が中国の競争力を侵食

東南アジア諸国連合（ASEAN）*の新興国における基本給は
中国本土を大きく下回る



中国の専門職の給与は
フィリピンおよびベトナムを
90%～120%上回る

中国の基本給は
新興ASEAN諸国で
最も労働コストが高い
インドネシアを
5%～44%上回る



*ASEANにはインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイおよびベトナムが含まれる。シンガポールは先進国と見なされているため、新興ASEAN諸国からは除かれる。

シンガポールの基本給は中国をはるかに上回る

シンガポールの給与は依然アジアで最も高く、世界中からトップクラスの人材を呼び込むために、グローバルにみても魅力的な報酬を提示

シンガポールの
専門職の給与は
中国の
2倍
以上



中間管理職から
トップマネジメント層で
見ると
シンガポールは中国を
28%～52%
上回る

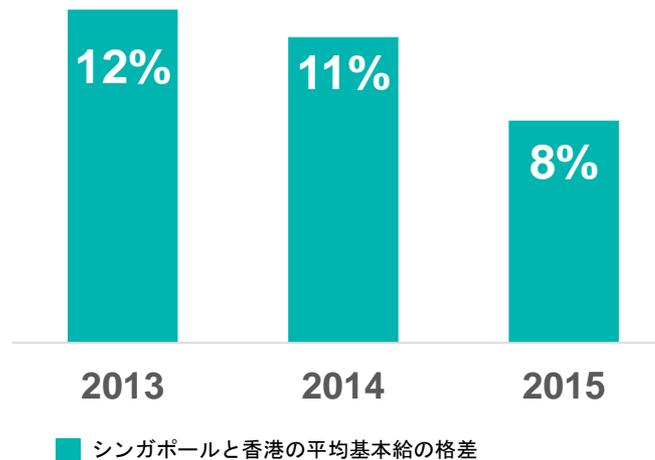


シンガポールと香港の給与格差は縮小しつつある

シンガポールの平均給与は
香港を
8%上回る

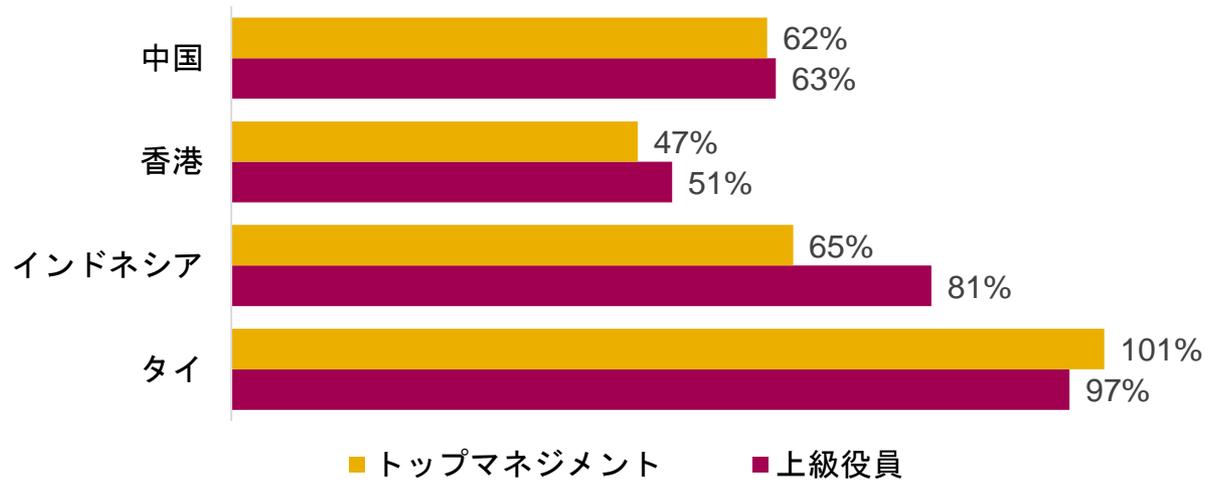
香港の有利な税率によって
シンガポールとの給与格差は
一段と縮小

基本給の比較 -- シンガポールと香港



台湾の上級役員・トップマネジメント給与は劣後

上級役員とトップマネジメントの給与水準：台湾とその他アジア



給与格差は、台湾において上級役員・トップマネジメントの人材供給が安定的である一方、新興ASEAN諸国では不足していることが原因と考えられる。